

[サービス概要](#) [よくある質問](#) [English](#)

[前のページに戻る](#)

### 光トポグラフィによる評価を活用した高齢者アニマルセラピープログラムの構築

研究課題番号: 24660050

**代表者** 2012年度～2013年度  
**奥津 文子**  
 研究者番号: 10314270  
 滋賀県立大学・教授

#### 研究分担者

<b>荒川 子登世</b> 研究者番号: 10212614 滋賀県立大学・准教授	<b>前川 直実</b> 研究者番号: 20352916 聖泉大学・看護学部・講師	<b>森 敏</b> 研究者番号: 40200365 滋賀県立大学・教授
<b>本田 可奈子</b> 研究者番号: 60381919 大垣女子短期大学・准教授	<b>永島 陽子</b> 研究者番号: 70390086 滋賀県立大学・准教授	<b>横井 和典</b> 研究者番号: 80300226 滋賀県立大学・准教授
<b>大門 裕子</b> 研究者番号: 90552638 滋賀県立大学・助教		

#### キーワード

[アニマルセラピー](#)  
[光トポグラフィ](#)  
[畜産](#)  
[脳神経学](#)  
[脳神経学](#)  
[高齢者](#)

#### この研究課題のドキュメント

2012年 [採択課題](#) [研究実施状況報告書\(基金分\)](#)  
 2013年 [研究実施状況報告書\(基金分\)](#)

#### 研究課題基本情報(最新年度)

**研究期間** 2012年4月1日～2015年3月31日(予定)  
**研究分野** [地域・老年看護学](#) **審査区分**  
**研究種目** 挑戦的萌芽研究 **研究機関** 滋賀県立大学  
**配分額** 2012年度: 780千円 (直接経費: 600千円, 間接経費: 180千円)  
**計画額** 2013年度: 1300千円 (直接経費: 1000千円, 間接経費: 300千円) 2014年度: 1560千円 (直接経費: 1200千円, 間接経費: 360千円)

#### 研究概要(最新報告)

2013年度は、脳血流および脳波の状態を確認しつつ、動物との効果的なふれあいプログラムを試作・検討することを目的に研究に取り組んだ。光トポグラフィのレンタル料が1週間で70万円と高額であったことから、活用することを断念。脳血流・脳波の測定で脳のリラックス状態を測ることに変更した。

アニマルセラピープログラムは、参加者の疲労を考慮し、イントロダクション・エンディングを含め20分間のプログラムとした。

訓練を受けた犬を用い、出会い→触れる→ゲーム→触れる→別れ、のプロセスを設定した。また、あってこゲーム・宝探しの2つのゲームを組み込み、セラピーの中盤で活気が高まるように工夫した。

研究協力が得られた大学生10名に対し、アニマルセラピープログラムを実施。その間、脳血流および**簡易脳波計で脳の状態をモニタリング**した。さらに実施前後でPOMS、唾液アミラーゼの測定を実施し、アニマルセラピーについての感想を聞き取り調査した。

その結果、POMS、唾液アミラーゼの測定では、セラピー前後で有意差は見られなかった。しかし、「ゲーム」実施中に脳血流が増加している協力者が多く(8/10名)、「触れる」実施中は、すべての協力者が脳血流・脳はともにリラックス状態を示した。

#### 現在までの達成度(最新報告)

**区分** (3) やや遅れている  
**理由** 2013年度はアニマルセラピープログラムを試作・検討することを目的としており、犬用のプログラムについては、達成できた。

しかし、羊・山羊を用いたセラピープログラムについては、「見る」「触れる」以外の「ゲーム」等を構築することが安全性の面から難しく、動物を変更することを検討している。ホースセラピーの可能性を模索している。

#### 今後の研究の推進方策等(最新報告)

##### 今後の推進方策

2014年度は、地域の高齢者ボランティアに犬用セラピープログラムを実施し、脳血流および脳波を用いて脳神経学状態を評価する。  
 また、ホースセラピー関係者からさらに情報を収集するとともに、アニマルセラピーを安全に楽しく行える畜産はないか検討を重ね、プログラムを構築・実施・評価する。

##### 次年度の研究費の使用計画

羊・山羊を使用したアニマルセラピープログラムの開発を、安全性の面から、馬の使用に変更を検討中。馬を使用することになった場合、馬および専門のインストラクターが必要であり、費用が生ずる。  
 また成果発表のための旅費(海外)も必要になる。  
 馬使用料32万円、インストラクター謝金5万円、を当初の予算を補正し使用する。

#### このページのURI

<https://kaken.nii.ac.jp/d/p/24660050.ja.html>

[サービス概要](#) [利用規程](#) [よくある質問](#) [国立情報学研究所](#)

このサイトに掲載された情報に間違い等を発見された場合は[こちら](#)をご覧ください。  
 科学研究費の「基金化」された各種目の配分額等の内容については[こちら](#)をご覧ください。  
 Copyright © 2005-2015 National Institute of Informatics All Rights Reserved.

FM-828  
 パワポサイト